

第1回 臼杵市総合計画審議会

日時:2024(令和6)年10月3日(木) 15:00~16:00
場所:臼杵市役所 2階 全員協議会室

～ 次第 ～

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長挨拶
- 4 会長選出
- 5 会長挨拶
- 6 職務代理者の指定
- 7 諮問
- 8 臼杵市総合計画審議会について
- 9 その他
- 10 閉会

臼杵市総合計画条例(平成26年12月19日条例第28号)

(目的)

第1条 この条例は、臼杵市まちづくり基本条例(平成24年臼杵市条例第30号)第12条の規定に基づき、総合的かつ計画的な市政運営を行うため、最上位の計画として臼杵市総合計画を策定することについて、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

(1) 総合計画 将来における本市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針であり、基本構想及び基本計画からなるものをいう。

(2) 基本構想 まちづくりの基本的な理念であり、本市のめざす都市像及び将来の基本目標を示すものをいう。

(3) 基本計画 本市のまちづくりの基本的な計画であり、基本構想における都市像及び基本目標の実現に向けた施策の基本的方針及び体系並びに目標値を示すものをいう。

(臼杵市総合計画の策定手続)

第3条 市長は、基本構想を策定するに当たっては、あらかじめ、臼杵市総合計画審議会(以下「審議会」という。)に諮問するものとする。

2 審議会は、市長の諮問に応じ、臼杵市総合計画に関し必要な事項について審議し、その結果を市長に答申するものとする。

3 市長は、前項の答申を踏まえ、基本構想を策定しようとするときは、議会の議決を経るものとする。

4 前3項の規定は、基本構想の変更について準用する。

(臼杵市総合計画審議会の設置)

第4条 前条第1項の規定により諮問された事項を審議するため、臼杵市総合計画審議会を置く。

2 審議会は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する15人以内の委員をもって組織する。

(1) 識見を有する者

(2) 公共的団体等の代表者

3 委員の任期は、市長が委嘱した日から、諮問に係る審議が終了し市長に答申した日までとする。

4 審議会に、会長を置き、委員の互選により、これを定める。

5 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

6 会長に事故があるとき、又は欠けたときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代理する。

7 審議会の庶務は、秘書・総合政策課において処理する。

8 次条に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

(審議会の会議)

第5条 審議会は、会長が招集する。

2 会長は、審議会の議長となる。

3 審議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

4 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 審議会において必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(公表)

第6条 市長は、総合計画を策定し、又は変更したときは、速やかにこれを公表するものとする。

2 市長は、総合計画に基づく施策を計画的に実施するために必要な措置を講じ、その実施状況について、適宜公表するものとする。

(総合計画との整合)

第7条 個別行政分野における施策の基本的な事項を定める計画を策定し、又は変更したときは、総合計画との整合を図るものとする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

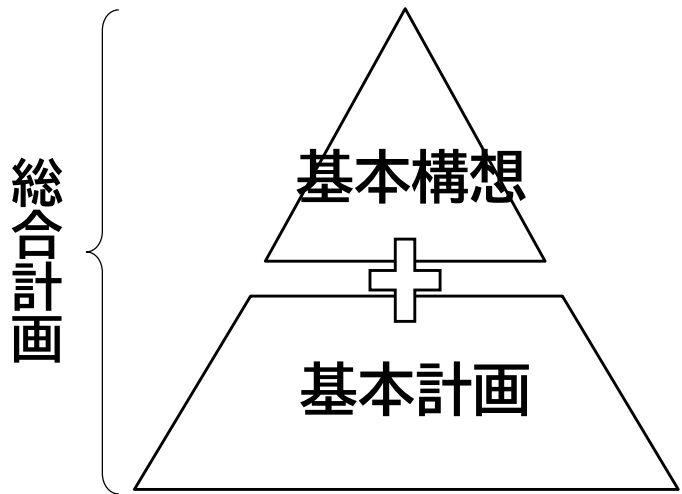
臼杵市総合計画審議会 委員

	氏名	団体/役職
1	吉村 充功	日本文理大 副学長 教授
2	内藤 康弘	臼杵市議会 議長
3	梅田 徳男	臼杵市議会 総務委員長
4	小手川 強二	臼杵商工会議所 会頭
5	疋田 忠公	臼杵市自治会連合会 会長
6	三重野 猛志	臼杵市社会福祉協議会 副会長
7	平松 愛子	臼杵市PTA連合会 副会長
8	道脇 慎一郎	臼杵市消防団 団長
9	廣戸 英吉	大分県漁業協同組合臼杵地区 漁業運営委員長
10	利光 京子	臼杵市防災士会 うすき女性防災士連絡協議会 会長
11	吉良 秀代	臼杵市民生委員児童委員協議会 主任児童委員
12	堀 京子	大分県農業協同組合南部エリア 野津女性部 部長
13	竹村 仁	臼杵市医師会立コスモス病院 事務長/臼杵市医師会介護部門 事務長
14	神田 寿恵	臼杵市保育協議会 すみれこども園 園長
15	飯田 雄二	株式会社大分銀行臼杵支店兼江無田支店 支店長

1. 総合計画について

総合計画は、まちづくりの基本理念及び目指すまちの姿を示す「基本構想」と、基本構想に基づく施策の方針と具体的施策を示す「基本計画」の大きく2段で構成された、目指すまちの姿の実現に向けた10年間の取り組みを示すものです。第2次臼杵市総合計画(現在の計画)は、計画の期間が令和6年度で期限をむかえることから、現在、第3次臼杵市総合計画(次期計画)の策定を進めています。

第2次臼杵市総合計画の全体像



- ～基本構想～
 - ・まちの将来像(めざすまちの姿)
 - ・まちづくりの目標(7+1分野分け、分野ごとの目標とその説明)
- ～基本計画～
 - ・総合計画の体系図
 - ・重点プロジェクト(3)
 - ・施策の体系図
 - ・施策の方針(23)
 - ・具体的施策(55)
 - 前:①方向性 ②現状と課題 ③主な取組(自助・共助・公助) ④ものさし
 - 後:①めざす姿 ②施策の背景(国県の動向、臼杵市の状況)
 - ③施策の主な課題 ④課題解決に必要な取組(自助・共助・公助)
 - ⑤ものさし ⑥関係する個別計画

臼杵市まちづくり基本条例(平成24年12月25日(条例第30号))
第10条(総合計画の策定及び進行管理)
本市は、総合的かつ計画的な市政運営を行うため、最上位の計画として、総合計画を策定するものとする。
2 市長は、総合計画の策定にあたっては、市民の参画の機会を確保するものとする。
3 市長は、総合計画の進行を管理し、必要に応じ見直し、その状況を公表するものとする。

臼杵市総合計画条例(平成26年12月19日(条例第28号))
第2条(定義)
(1)総合計画 将来における本市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針であり、基本構想及び基本計画からなるものをいう。
(2)基本構想 まちづくりの基本的な理念であり、本市のめざす都市像及び将来の基本目標を示すものをいう。
(3)基本計画 本市のまちづくりの基本的な計画であり、基本構想における都市像及び基本目標の実現に向けた施策の基本的方針及び体系並びに目標値を示すものをいう。

1. 総合計画について

合併して最初の10年間

第1次臼杵市総合計画(2006(H18)~2015(H27))

日本の心が育つまち ~たくましさと温もりをめざして~

新市としての一体感の醸成とそれぞれの地域の特性を活かしつつ、新たな臼杵のまちづくりに取り組んできました。

その後の10年間

第2次臼杵市総合計画(2015(H27)~2024(R6))

日本の心が息づくまち臼杵 ~「おだやかさ」と「たくましさ」を未来へつなぐ~

本市の魅力や資源を活かしながら地域の活力を維持、発展させ「市民の皆さんが暮らしの中で幸せを実感できるまちづくり」をめざしてきました。

【具体的な取組】

(2010(H22))

- 臼杵市土づくりセンターの整備
- 防災対策(避難路、誘導灯、倉庫などの整備、防災リーダーの育成)



臼杵市土づくりセンター

(2012(H24))

- 「ほんまもん農産物」の販売開始(以降、学校給食への使用開始)

(2013(H25))

- 新消防庁舎稼働

(2015(H27))

- 臼杵市子ども・子育て総合支援センター ちあぼーとの開設
- 移住定住施策の開始(移住補助、住宅取得補助など)



臼杵市子ども・子育て総合支援センター ちあぼーと

(2016(H28))

- 諏訪山運動公園リニューアル

(2018(H30))

- うすき石仏ねっとと連動した子育て支援アプリ「ちあほっと」配信開始



「ちあほっと」

(2019(R1))

- 「臼杵市社会基盤整備・災害支援センター」の開設

(2020(R2))

- 市内全域(全18地区)で地域振興協議会(地域運営組織)の組織化

(2021(R3))

- ユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野への加盟認定

- 臼杵市野津市民交流センター「ゆるる」の開所



「うすき石仏ねっと」石仏カード

(2022(R4))

- パーマフェスう♡(すき)

(2023(R5))

- 保育料無償化



臼杵市野津市民交流センター「ゆるる」

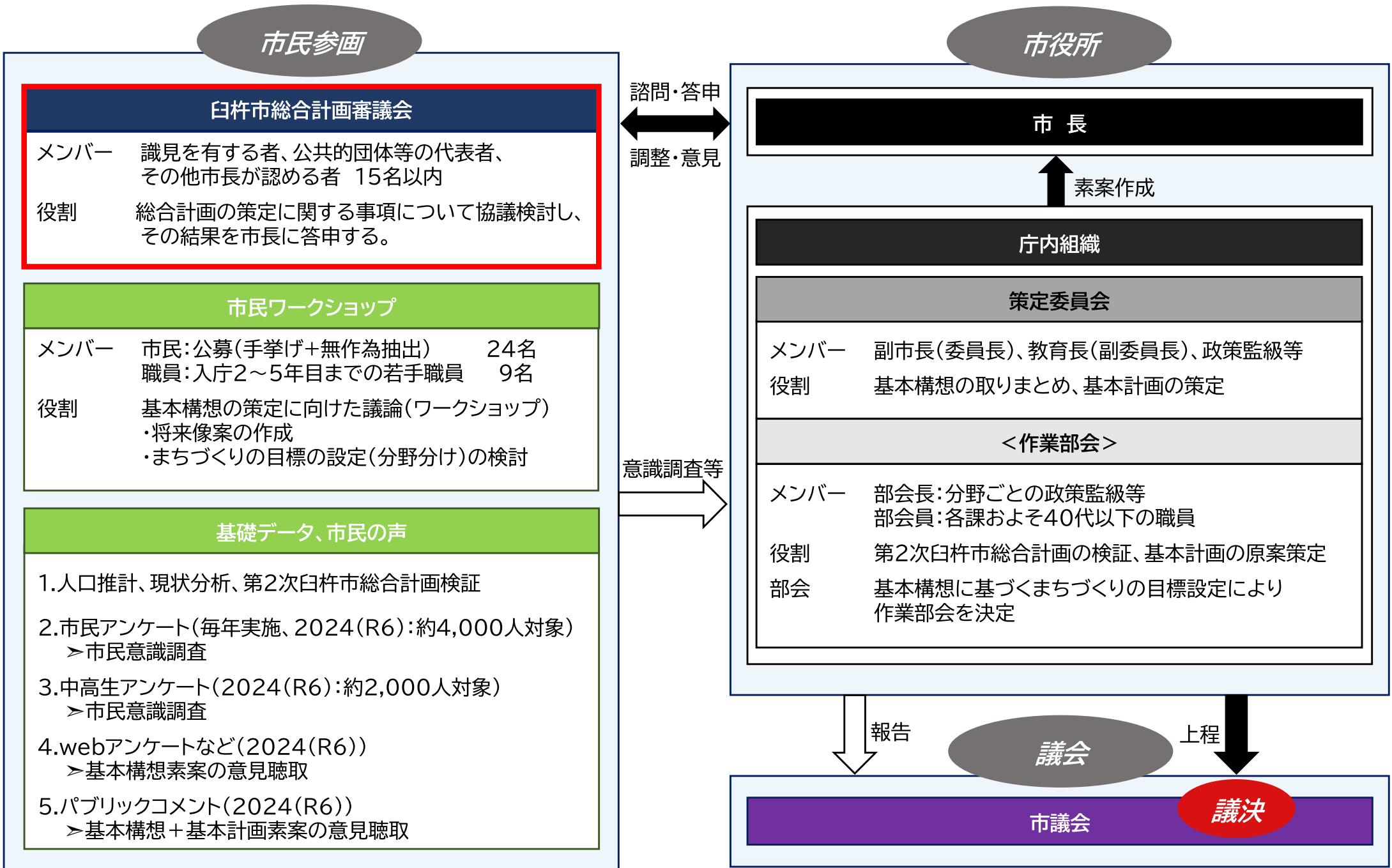
(2024(R6))

- 高校生までの医療費無償化(小中学生はR4.7から無償化)



パーマフェスう♡(すき)

2. 策定に係る組織体制について



市民参画 ↔ 市役所

調整・意見

意識調査等

3. 臼杵市総合計画審議会について

<役割>

市長より諮問された基本構想の策定に関する事項を審議し、その結果を市長に答申する

<組織構成>

市長が委嘱する15人以内の委員(識見を有する者、公共的団体等の代表者)

<委員名簿>

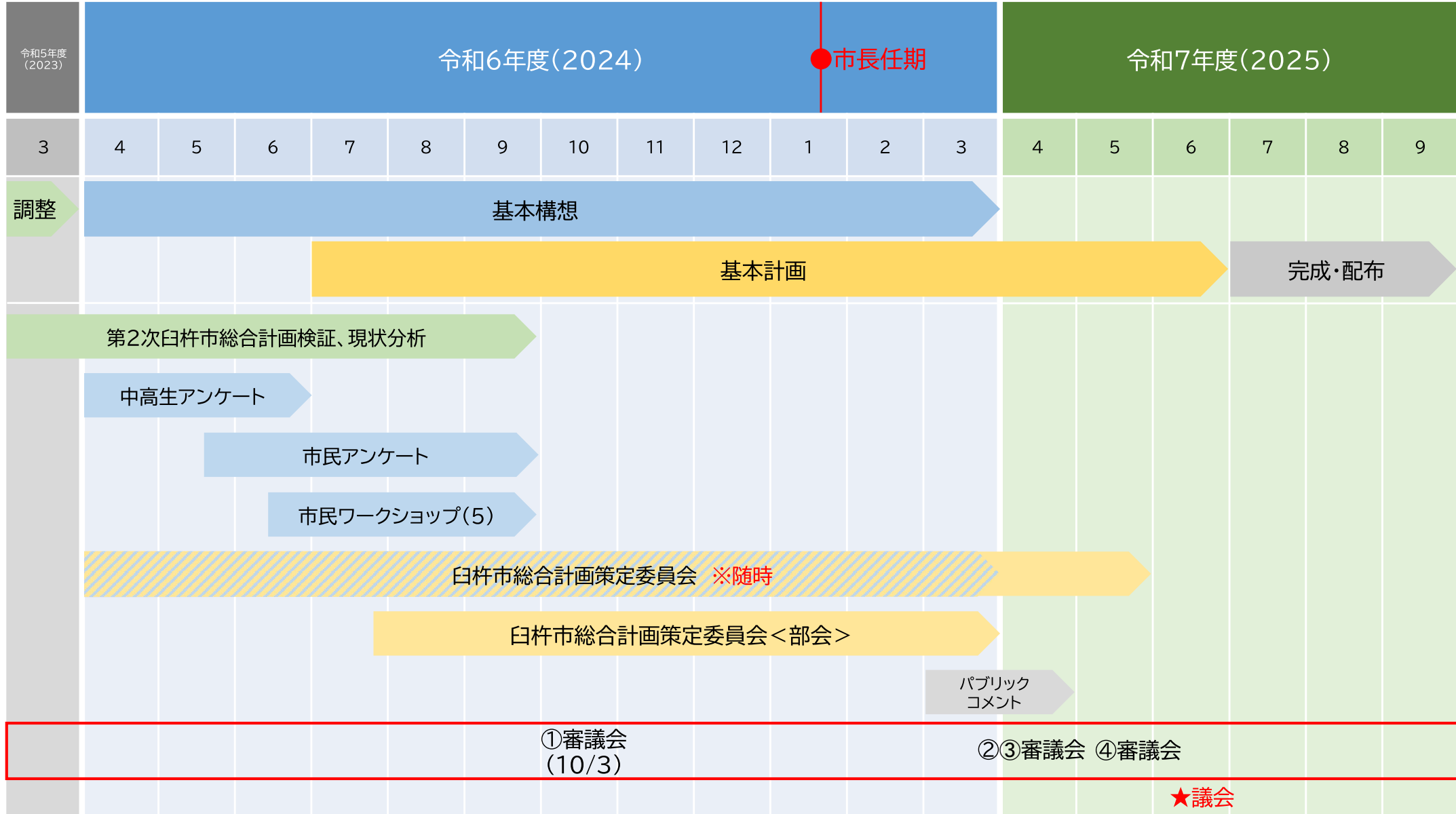
	氏名	団体/役職
1	吉村 充功	日本文理大 副学長 教授
2	内藤 康弘	臼杵市議会 議長
3	梅田 徳男	臼杵市議会 総務委員長
4	小手川 強二	臼杵商工会議所 会頭
5	疋田 忠公	臼杵市自治会連合会 会長
6	三重野 猛志	臼杵市社会福祉協議会 副会長
7	平松 愛子	臼杵市PTA連合会 副会長
8	道脇 慎一郎	臼杵市消防団 団長
9	廣戸 英吉	大分県漁業協同組合臼杵地区 漁業運営委員長
10	利光 京子	臼杵市防災士会 うすき女性防災士連絡協議会 会長
11	吉良 秀代	臼杵市民生委員児童委員協議会 主任児童委員
12	堀 京子	大分県農業協同組合南部エリア 野津女性部 部長
13	竹村 仁	臼杵市医師会立コスモス病院 事務長/臼杵市医師会介護部門 事務長
14	神田 寿恵	臼杵市保育協議会 すみれこども園 園長
15	飯田 雄二	株式会社大分銀行臼杵支店兼江無田支店 支店長

<今後のスケジュール(案)> ※計4回想定

第1回 (2024(R6).10.3)	委嘱、会長選出、 諮問、説明・報告
第2回 (2025(R7).3末頃)	総合計画素案の審議①
第3回 (2025(R7).4末頃)	総合計画素案の審議②
第4回 (2025(R7).5)	最終確認、答申案の審議、 答申

※基本構想および基本計画の修正等が生じた場合は書面回議にて実施予定

4. 次期総合計画策定スケジュール



<臼杵市総合計画審議会(予定)> ※計4回想定
 第1回(2024(R6).10.3) 委嘱、会長選出、諮問、説明・報告
 第2回(2025(R7).3末頃) 総合計画素案の審議①
 第3回(2025(R7).4末頃) 総合計画素案の審議②
 第4回(2025(R7).5頃) 最終確認、答申案の審議、答申

5. 次期総合計画策定の基本的な考え方

(1) これまでの計画を踏まえて次世代へつなぐ

2005(平成17)年に旧臼杵市と旧野津町が合併し、新臼杵市が誕生しました。今年度で20周年を迎えます。合併して最初の10年間、第1次臼杵市総合計画では「日本の心が育つまち～たくましさと温もりをめざして～」の将来像のもと、新市としての一体感の醸成とそれぞれの地域の特性を活かしつつ、新たな臼杵のまちづくりに取り組んできました。

その後の10年間である、第2次臼杵市総合計画では「日本の心が息づくまち臼杵～『おだやかさ』と『たくましさ』を未来へつなぐ～」の将来像のもと、本市の魅力や資源を活かしながら地域の活力を維持、発展させ「市民が暮らしの中で幸せを実感できるまちづくり」をめざしてきました。

次期計画では、これら20年間の取組を踏まえ、時代の変化と要請に的確に対応し、必要な政策・施策を見定め、次世代へつなぐ指針としてとりまとめます。

(2) 市民が主役のまちづくり

臼杵市のまちづくりは市民が主役です(臼杵市まちづくり基本条例第3条(基本理念)より)。そのため、市民一人ひとりの声が原点であり、特に、これからの臼杵市を支える若い世代の声は重要です。政策・施策づくりにおいては、この市民の声(想い)をカタチにしていくことが大切です。

このため、本計画は、関係団体の代表者で構成される臼杵市総合計画審議会をはじめとして、中学生・高校生アンケートや市民アンケート、市民ワークショップなどで、多様な市民の声を伺いながら、ともに計画策定を進めていきます。施策は、市民が望む10年後の姿を描いたうえで、バックキャスト※の考え方で必要となる取組等を掲げ、市民とともに歩んでいくものとします。

(3) 10年後のその先(次世代)も見据えて

市民と夢を共有しながら、将来、臼杵市を支えるこどもたちのために希望あふれる未来を切り開いていくことも大切です。他の自治体にはない臼杵市独自の取組(施策)の深化や2050年のカーボンニュートラル実現に向けた挑戦など、10年後のさらにその先も見据えた取組(施策)も盛り込んでいきます。

※ 現状・課題から解決策を考えるのではなく、まず、ありがたい未来を描いたうえで、そこから逆算して必要な道筋や解決策を建てる戦略的思考、手法のこと。

6. 次期総合計画における4つの重要な視点

① 想定を上回るスピードで進む人口減少

- ・2012(平成24)年以降、年間約500人規模の人口減少の傾向が続いており、2020(令和2)年では36,158人となっています。国立社会保障・人口問題研究所によれば、10年後の2035(令和17)年には27,161人になると推計されています。
- ・社会動態(転入者数-転出者数)は縮小傾向で推移しているものの、自然動態(出生数-死亡者数)は拡大傾向にあるため、依然として厳しい状況が続いています。

② 地球環境問題の深刻化と自然災害の脅威

- ・2015(平成27)年に採択された地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定※」をもとに、2020(令和2)年10月、我が国も、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、2050(令和32)年までに全体でゼロにするカーボンニュートラルの実現を宣言しました。
- ・地震や豪雨などの自然災害の頻発・激甚化、記録的な猛暑、農林水産物や生態系への影響が一層深刻化していくことが懸念されています。

③ デジタル社会の進展

- ・非接触・非対面サービスの急拡大など、日常生活のあらゆる面でデジタル化が進展しています。市民ニーズも大きく変化する中、市民の暮らしをより便利で豊かにし、人口減少社会において効率的な行財政運営を行っていくため、DXの推進が求められています。

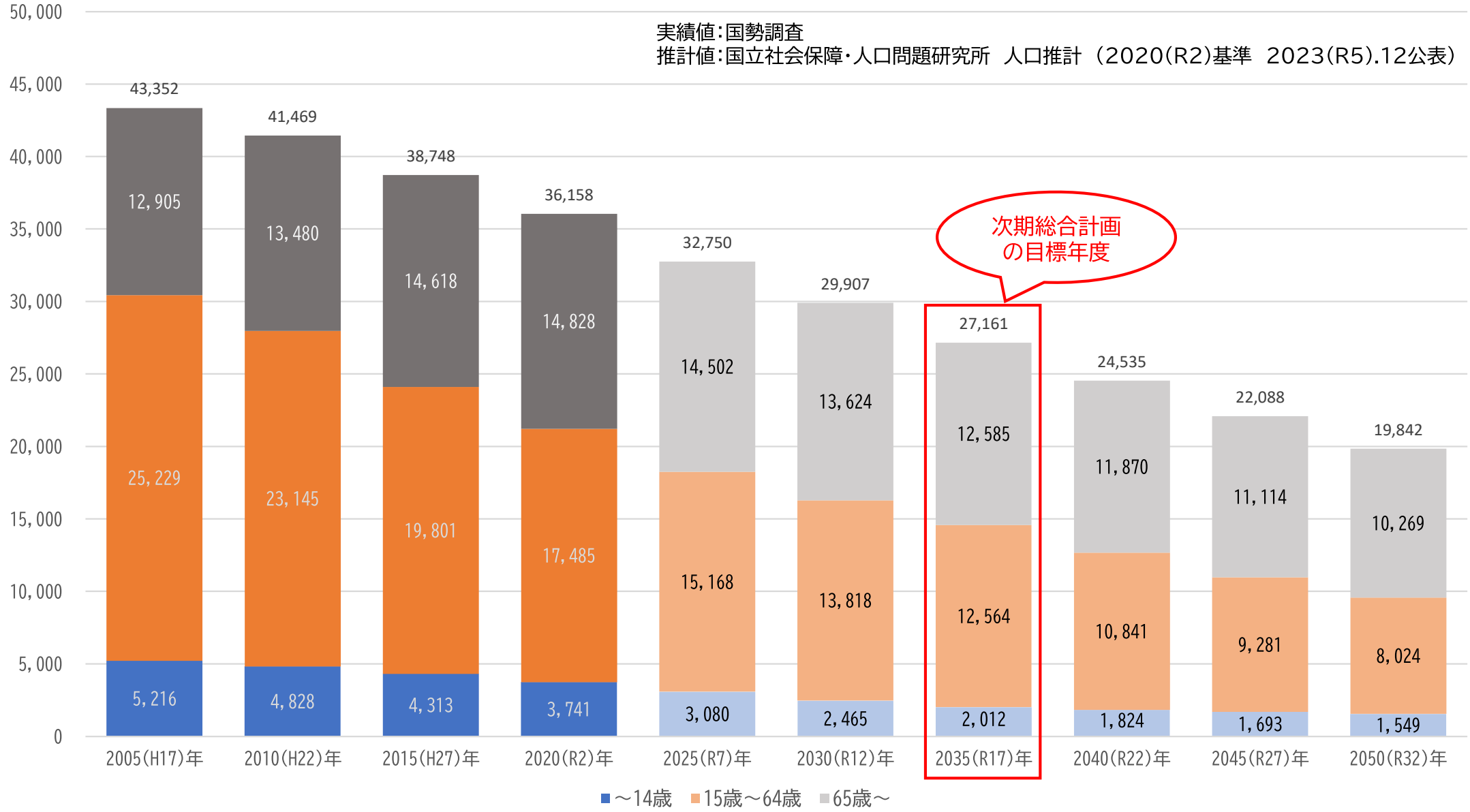
④ グローバル化

- ・人口減少社会において、外国人材の受入れおよび共生社会実現に向けた取組が進んでいます。また、外国人観光客の誘客など、国境を越えた移動や交流がより一層推進されることが想定されます。
- ・ユネスコ創造都市(食文化分野)への加盟により、ますます国境を越えた交流が図られることが予想されます。

※ 世界の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力を継続すること、そのために、今世紀後半に人為的な温室効果ガス排出を実質ゼロ(排出量と吸収量を均衡させること)とすることが盛り込まれた。

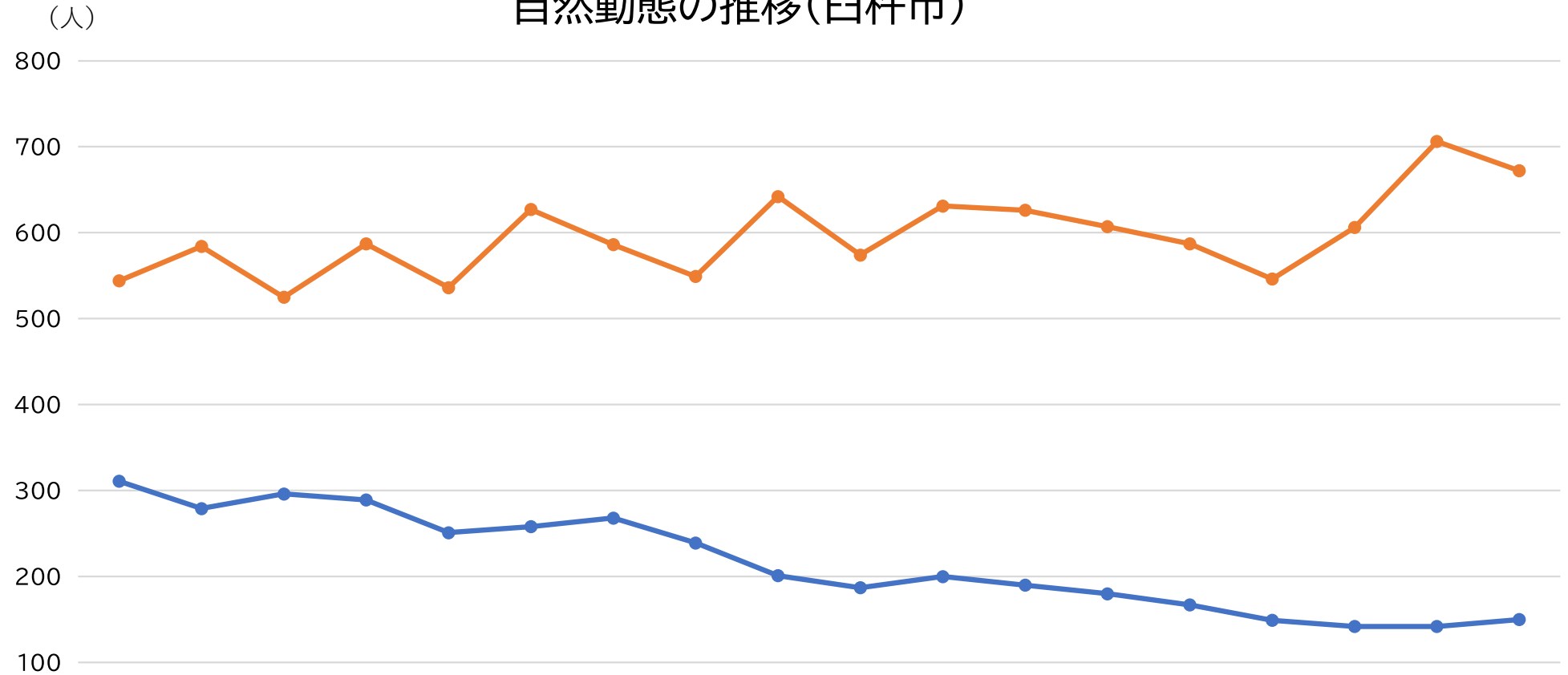
7. 人口と財政状況

年齢3区分別人口推移



7. 人口と財政状況

自然動態の推移(臼杵市)



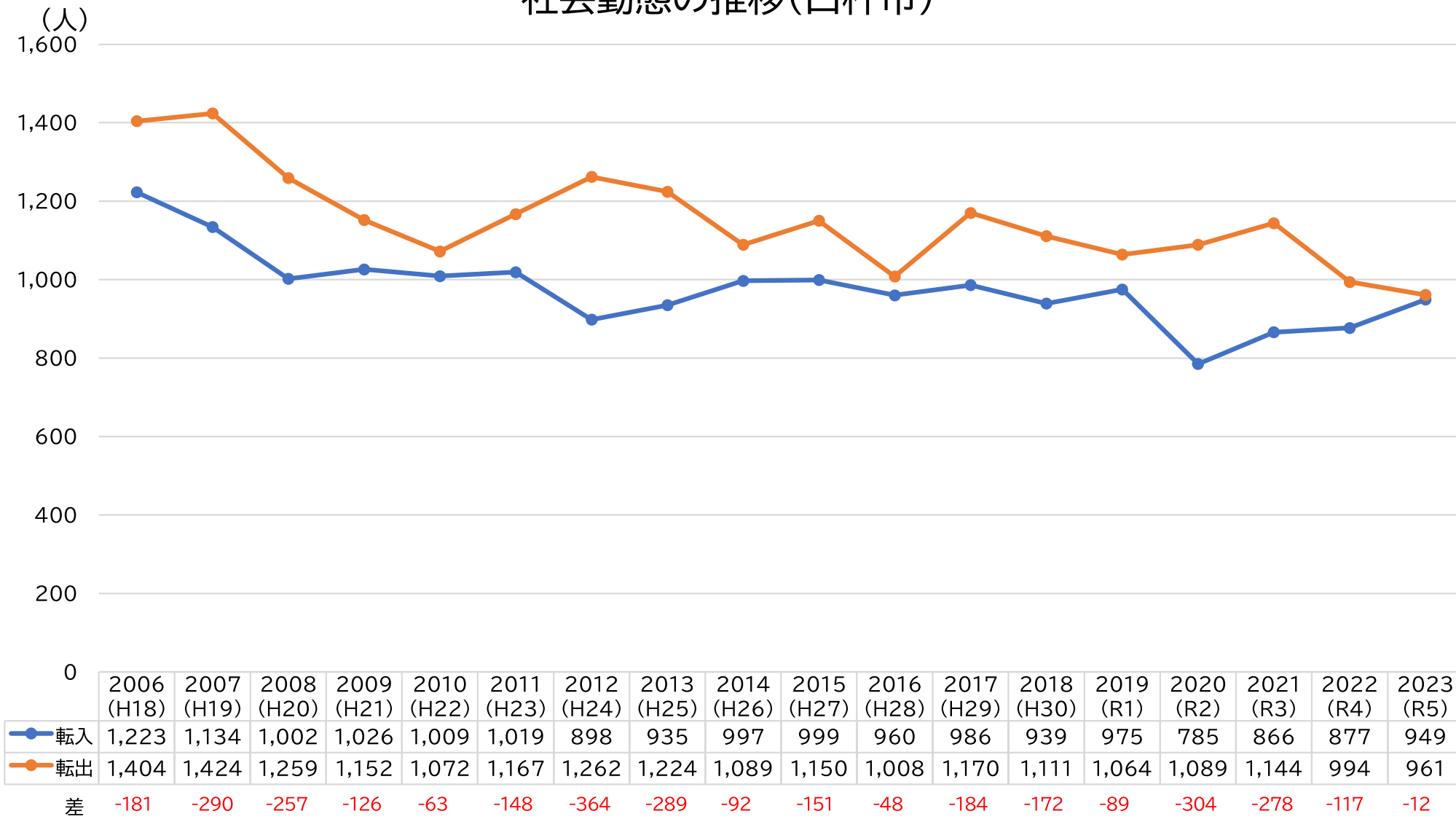
	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
● 出生数	311	279	296	289	251	258	268	239	201	187	200	190	180	167	149	142	142	150
● 死亡者数	544	584	525	587	536	627	586	549	642	574	631	626	607	587	546	606	706	672
差	-233	-305	-229	-298	-285	-369	-318	-310	-441	-387	-431	-436	-427	-420	-397	-464	-564	-522

第1次臼杵市総合計画 (2006~2014)
 出生数平均 265.8人
 死亡者数平均 575.6人
 差 **-309.8人**

第2次臼杵市総合計画 (2015~2024)
 出生数平均 167.4人
 死亡者数平均 617.2人
 差 **-449.8人**

7. 人口と財政状況

社会動態の推移(臼杵市)



第1次臼杵市総合計画 (2006~2014)
 転入者数平均 1027.0人
 転出者数平均 1228.1人
 差 -201.1人

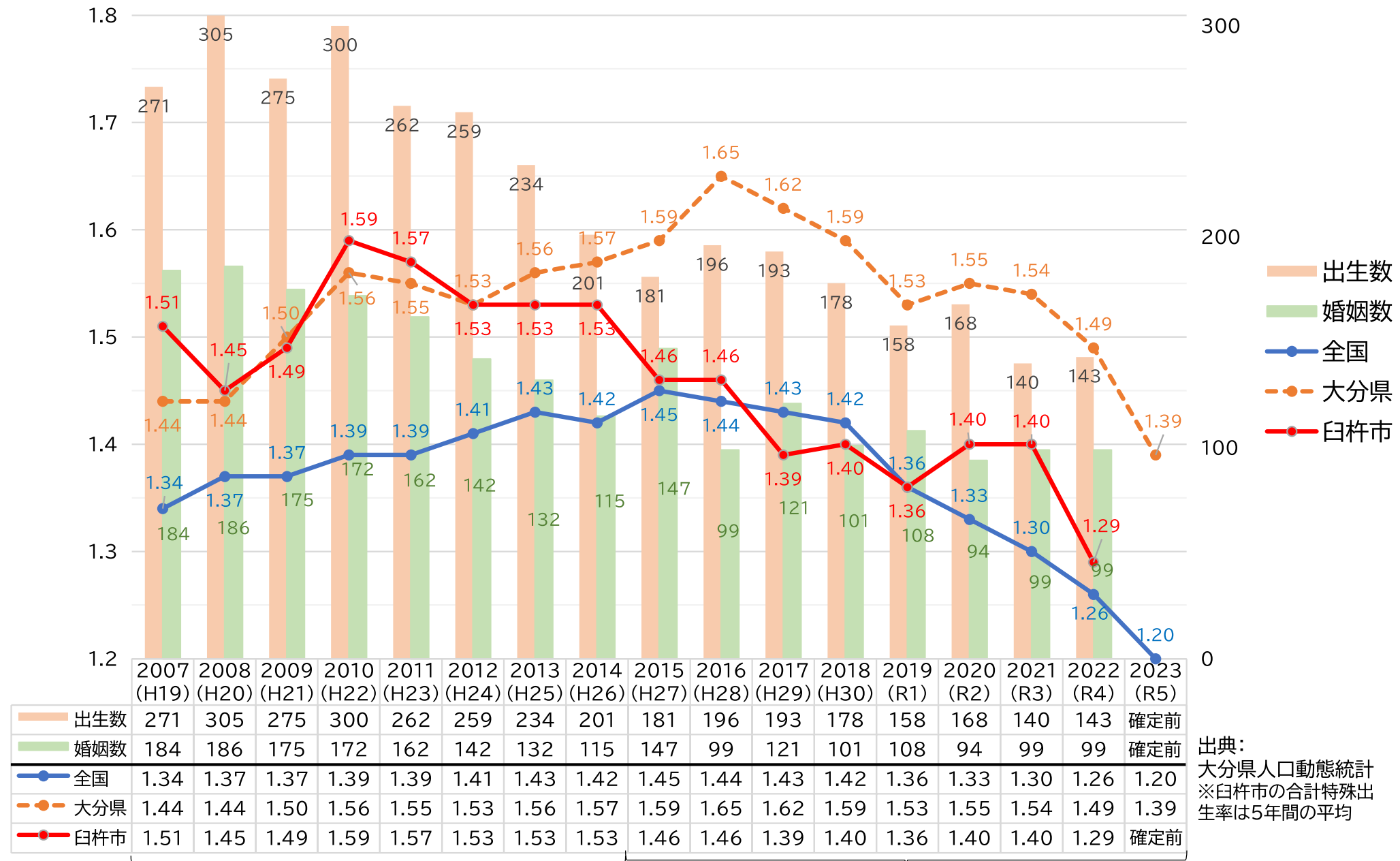
第2次臼杵市総合計画 (2015~2024)
 転入者数平均 926.2人
 転出者数平均 1076.8人
 差 -150.6人

7. 人口と財政状況

(合計特出生率)

婚姻数、出生数と合計特出生率の推移(臼杵市)

(出生数・人/年)



第1次臼杵市総合計画 (2006~2014)

第2次臼杵市総合計画 (2015~2024)

出典:
大分県人口動態統計
※臼杵市の合計特殊出生率は5年間の平均

7. 人口と財政状況

臼杵市の今後の財政見通し(中期財政収支 ※普通会計)

(千円)

区分	2022(R4)年度 (決算額)	2023(R5)年度 (見込み額)	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度
歳入合計(A)	23,916,544	23,272,647	21,985,697	21,329,362	21,965,137	20,639,305
歳出合計(B)	23,420,097	23,139,542	21,909,008	21,407,494	22,258,217	20,939,673
要調整額 ((A)-(B))	496,447	133,105	76,689	▲78,132	▲293,080	▲300,368

出典: 臼杵市中期財政計画より抜粋

※解説

中期財政計画は、一定の推計条件を前提とし、歳入は厳しく、歳出は最大を想定して作成するため、数年後から単年度収支額が赤字になり、後年度ほど厳しくなることを見込んだ計画となっています。

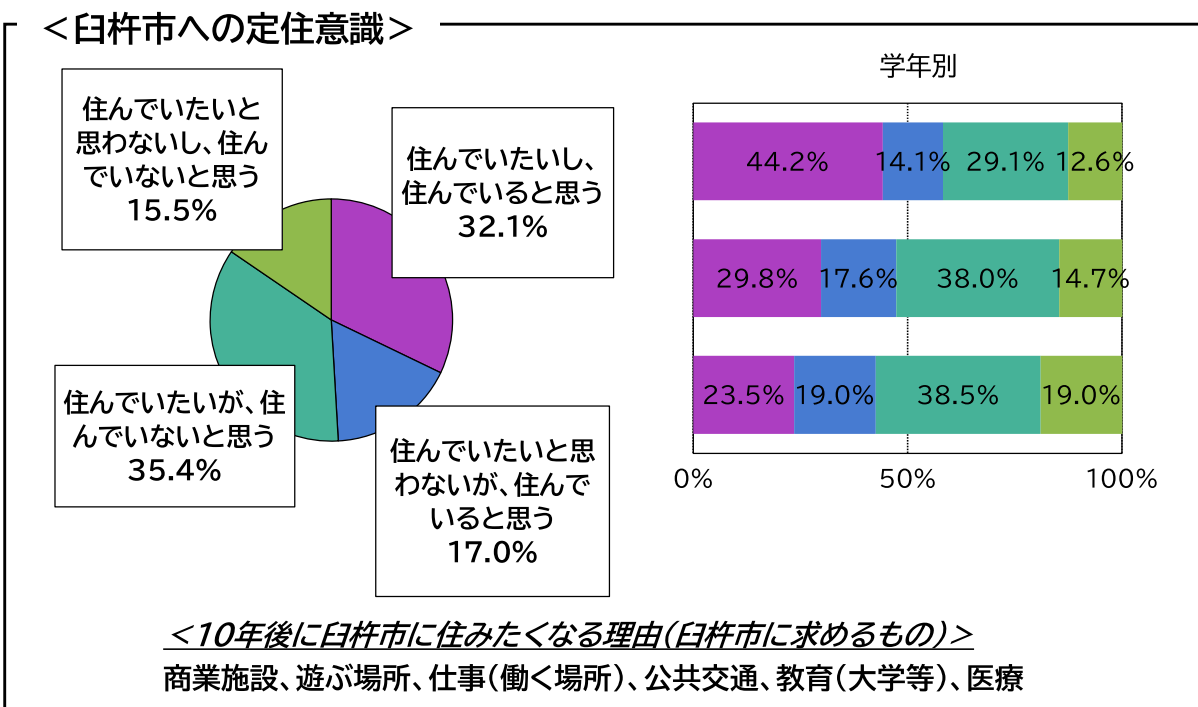
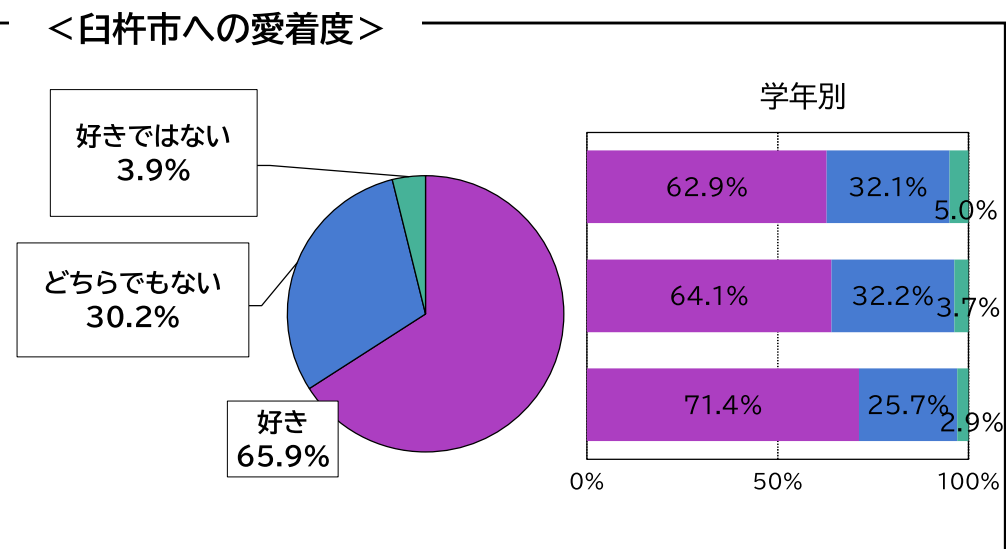
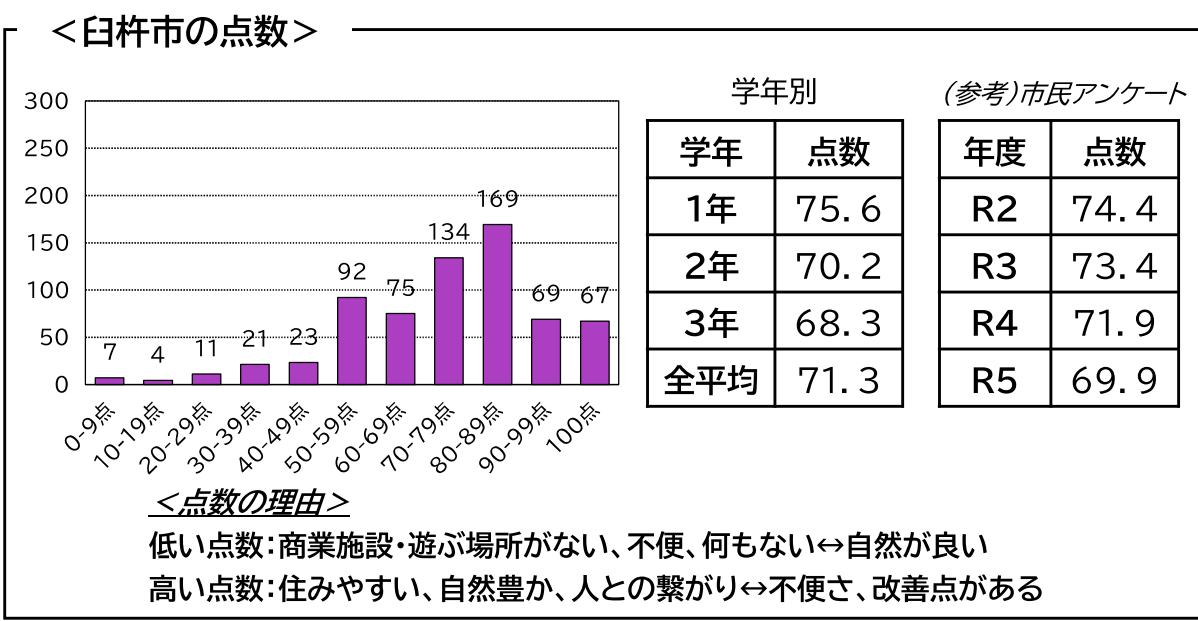
各種計画に基づく施策の着実な推進を図りつつ、事業間の優先順位の判断や、市税をはじめとする財源の確保など財政健全化に向けた取組を推進することにより、「持続可能な自治体経営」を目指しています。

歳入とは、... 市の一般会計年度における収入のことをいい、市が行う行政活動の財源となるものです。主なものとしては、市税、国庫支出金、県支出金、地方債、使用料などがあります。

歳出とは、... 市の一般会計年度における支出のことをいいます。主なものとしては、民生費(障がい者や高齢者に対する福祉の充実、子育て支援)、総務費(全般的な事務経費)、土木費(道路・橋などの整備)、衛生費(環境保全、疾病予防、健康増進)、教育費(教育施設などの整備)などがあります。

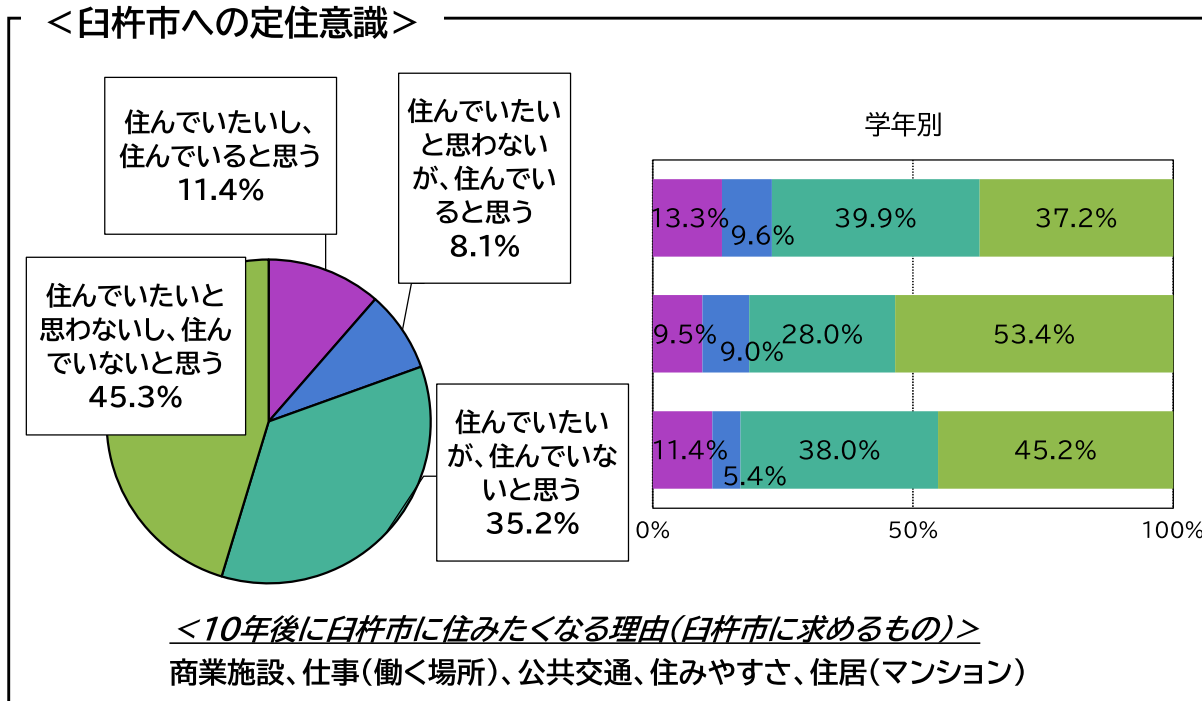
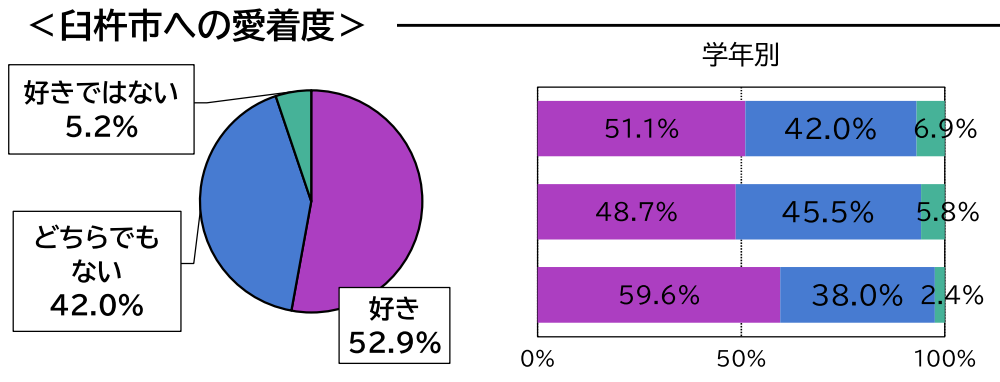
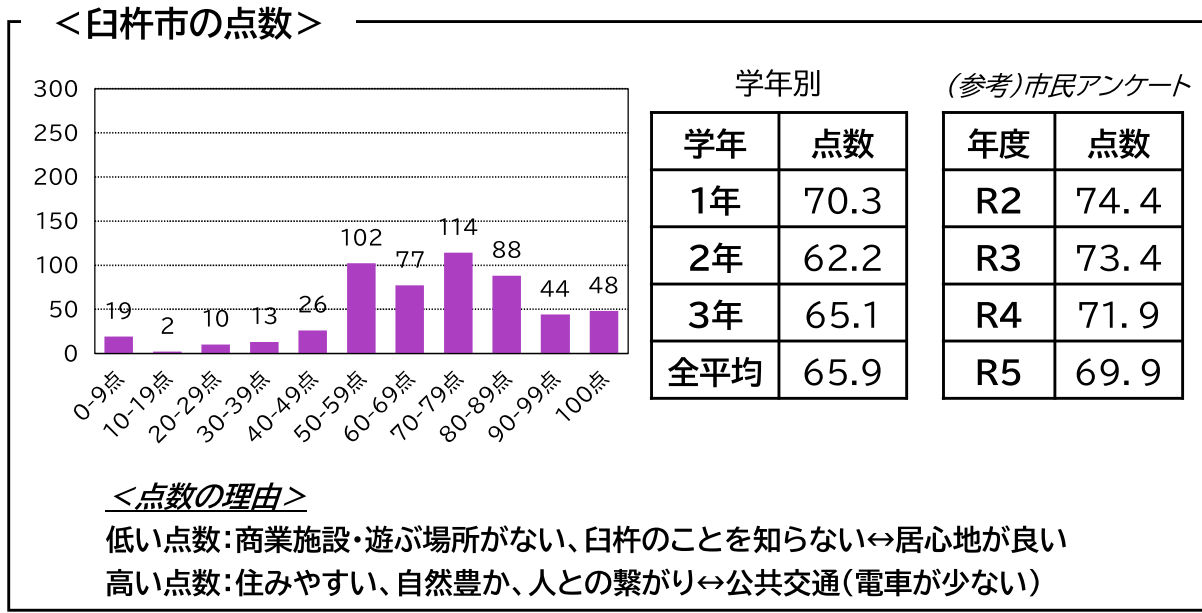
8. 経過報告 <中学生アンケート>

<概要>	
調査期間	2024(令和6)年4月19日(金)～5月24日(金)
調査対象	臼杵市内在住の中学生
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 市内の全中学校に回答を依頼。(タブレットから回答) 臼杵市報および臼杵市ホームページへ調査依頼ページを掲載し、回答を依頼。
回答率	81.0% (総数:830名、回答数:672名) ※総数:R6.4.1時点
調査結果の活用	<ul style="list-style-type: none"> めざすべきまちの姿や未来の理想の臼杵市に向けたまちづくりのキーワードは将来像の作成に活用 アイデアは具体的な施策など総合計画策定の基礎資料として活用



8. 経過報告 <高校生アンケート>

<概要>																													
調査期間	2024(令和6)年4月19日(金)～5月24日(金)																												
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 臼杵市内外の高校に通う市内在住の生徒 ● 臼杵市内の高校に通う市外在住の生徒 																												
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の2高校に回答を依頼。(タブレットから回答) ● 臼杵市報および臼杵市ホームページへ調査依頼ページを掲載し、回答を依頼。 																												
回答数	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">学年別</th> <th colspan="2">地域別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>188</td> <td>臼杵市</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>189</td> <td>大分市</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>166</td> <td>津久見市</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>543</td> <td>佐伯市</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>うち臼杵高校</td> <td>464</td> <td>豊後大野市</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>うち海洋科学高校</td> <td>75</td> <td>その他</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 母数不明のため回答数を記載しています。</p>	学年別		地域別		1年	188	臼杵市	232	2年	189	大分市	223	3年	166	津久見市	44	合計	543	佐伯市	18	うち臼杵高校	464	豊後大野市	1	うち海洋科学高校	75	その他	25
学年別		地域別																											
1年	188	臼杵市	232																										
2年	189	大分市	223																										
3年	166	津久見市	44																										
合計	543	佐伯市	18																										
うち臼杵高校	464	豊後大野市	1																										
うち海洋科学高校	75	その他	25																										
調査結果の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● めざすべきまちの姿や未来の理想の臼杵市に向けたまちづくりのキーワードは将来像の作成に活用 ● アイデアは具体的な施策など総合計画策定の基礎資料として活用 																												



8. 経過報告 <市民アンケート>

<概要>																																				
調査期間	● 2024(令和6)年6月5日(水)～6月26日(水)																																			
調査対象	● 18歳以上の市民4,000人																																			
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送方式:調査票を郵送で配布し、郵送で回収 ● インターネット方式:アンケート用紙(冊子)の表紙の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取り、専用フォームで回答 																																			
調査結果の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 「第2次臼杵市総合計画」に掲げる施策や事業についての評価 ● 「第3次臼杵市総合計画」や事業計画の策定(既存事業の見直し、新規事業の検討など)の資料として活用 																																			
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査結果は実数あるいは百分率で表示しています。 ● 百分率は、小数点第2位を四捨五入しているため、比率が100%と一致しない場合があります。 ● 満足度と必要度は、小数点第3位を四捨五入しています。 ● 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。 																																			
回収率	<ul style="list-style-type: none"> ● 34.8%(=(回答者1,390件÷(抽出数4,000件-返送数10件)×100)) <p>↓過年度のアンケートの回収率は以下のとおりです。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>参考</th> <th>2019 (R1)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> <th>2024 (R6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>抽出数</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>返送数</td> <td>23</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>回収数</td> <td>792</td> <td>864</td> <td>743</td> <td>753</td> <td>681</td> <td>1,390</td> </tr> <tr> <td>回収率</td> <td>40.1%</td> <td>43.3%</td> <td>37.3%</td> <td>37.7%</td> <td>34.2%</td> <td>34.8%</td> </tr> </tbody> </table>	参考	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	抽出数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	4,000	返送数	23	6	6	5	9	10	回収数	792	864	743	753	681	1,390	回収率	40.1%	43.3%	37.3%	37.7%	34.2%	34.8%
参考	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)																														
抽出数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	4,000																														
返送数	23	6	6	5	9	10																														
回収数	792	864	743	753	681	1,390																														
回収率	40.1%	43.3%	37.3%	37.7%	34.2%	34.8%																														

8. 経過報告 <アンケート比較>

<10年後の臼杵市がどのようなまちになっていたらうれしいですか、または、今後5年間で重点的に取り組むべきものとするものについて>

市の施策(第2次臼杵市総合計画に掲げている各施策)	市民アンケート			高校生アンケート		中学生アンケート	
	順位	昨年度 順位	割合※	順位	割合	順位	割合
子育てしやすい環境を整える	1	1	44.9%	2	35.7%	3	24.3%
災害に強いまちをつくる(防災のための環境整備)	2	2	29.6%	10	13.1%	10	13.8%
臼杵に魅かれ暮らす人を増やす(移住・定住)	3	6	26.4%	7	16.2%	11	12.6%
社会経済を潤す(市街地活性化、地場企業育成・就労支援、企業誘致)	4	4	26.1%	4	21.7%	6	17.0%
高齢者がいきいきと安心して生活する	5	3	25.8%	5	21.4%	5	19.0%
安心安全な暮らしを守り支える(消防・防犯・交通安全・虐待予防等)	6	5	23.2%	3	27.8%	1	43.0%
交通基盤を整える(道路、公共交通、港湾整備)	7	7	19.1%	8	15.7%	12	12.2%
ふるさとを担うたくましい人材を育てる(学力向上、学校地域間連携)	8	8	12.9%	16	6.4%	16	7.1%
みんながつながり支え合う(地域内交流・コミュニティ支援)	9	10	11.2%	11	12.0%	18	6.0%
健康寿命を延伸する(医療や介護などの体制が整っている)	10	11	10.5%	1	42.0%	2	37.9%
おいしく安全な食材を創り活かす(農業、水産業、6次産業・ブランド化)	11	9	10.4%	19	3.5%	19	3.6%
災害に強い組織・人をつくる(自主的な防災活動)	12	14	10.3%	14	6.8%	15	7.7%
市民の暮らしと調和した生活空間を形成する(まちづくり・公園・水道下水など)	13	12	8.8%	17	6.3%	13	11.0%
文化を守り伝承する(文化・芸術・歴史・文化遺産の伝承、継承)	14	17	7.2%	12	9.4%	17	6.7%
一人ひとりの人権が尊重されるまちをつくる	14	13	7.2%	18	5.9%	14	9.4%
環境にやさしい資源が活かされ循環するまちをつくる(ゴミ適正処理、森林整備)	16	16	6.6%	13	8.5%	7	15.6%
自分らしい笑顔輝く人生の自立を支える(障がいのある人の社会参加)	17	15	6.3%	14	6.8%	9	15.2%
「おもてなしの心」を磨き、魅力的な観光資源で交流を広げる	18	18	4.9%	6	20.4%	7	15.6%
ひとり1スポーツの実践(スポーツ施設・体力づくり)	19	19	4.6%	9	13.8%	4	19.6%
輝き続ける自分をつくる(生涯学習、読書活動)	20	20	2.5%	21	3.1%	21	1.2%
情報基盤を整え使いこなす(ケーブルテレビ、広聴・広報)	21	21	2.1%	19	3.5%	20	1.3%

※割合は、分母を有効回答数(全回答数から無回答を除く)としています。
 ※一人3つ選択する設問のため、すべての割合を加えて100%にはなりません。

8. 経過報告 <市民ワークショップ>

<市民ワークショップについて>

臼杵市では「市民が主役のまちづくり」を行っています。
今回の市民ワークショップでは、ご参加いただく皆さんに臼杵市の現状を知っていただき、臼杵市の「将来像」や「まちづくりの目標」について、一緒に考え、つくりあげていくため、下記3つのことを目的として実施しました。

目的

- 普段、交わらない世代の交流の場の創出。
- 臼杵市の現状を知ってもらう。
- 基本構想のベースとなる“将来像”や“まちづくりの目標”の原案となるキーワードを探る。

<市民ワークショップの募集・参加者>

市民ワークショップの参加者は、臼杵市のまちづくりに関心のある市民を対象に、公募及び無作為抽出した住民に案内を送付し、広くメンバーを募集しました。

①公募

- 市報(2024(令和6)年5月号掲載)
- 市ホームページ
- 新聞(2024(令和6)年5月22日掲載)



②無作為抽出

- 市内の15~49歳の無作為抽出を行った市民(1,400名)へ案内を送付



参加者集合写真(最終回2024(R6).9.3)

8. 経過報告 <市民ワークショップ>

<市民ワークショップの概要>

第1回

日時・場所

日時: 6/20(木) 19-21時
場所: 臼杵市役所臼杵庁舎
1階大会議室

目的

- 臼杵市を知ってもらう

内容

これまでの臼杵市の取組の紹介や臼杵市の個性を知るため「臼杵市クイズ大会」を実施しました。普段なかなか触れることのない臼杵市のことを知る機会としました。



第2回

日時・場所

日時: 7/4(木) 19-21時
場所: 臼杵市役所臼杵庁舎
1階大会議室

目的

- 臼杵市のこれまでとこれからを理解してもらう

内容

臼杵市のこれからの人口や財政状況の予測について情報共有を行い、人口減少が暮らしに与える影響、臼杵市のよいところについて考えました。



第3回

日時・場所

日時: 7/18(木) 19-21時
場所: 臼杵市役所臼杵庁舎
1階大会議室

目的

- 臼杵市の現状と課題を知ってもらう

内容

幸せなまちや臼杵市の改善点について、グループごとに話し合いを行いました。最後はグループごとに発表を行い、全員で共有しました。



第4回

日時・場所

日時: 8/1(木) 19-21時
場所: 臼杵市役所臼杵庁舎
1階大会議室

目的

- 臼杵市のまちづくりで重要となるキーワードを探る

内容

今後の臼杵市のまちづくりで重要となるキーワードについて、各グループ異なる視点から、臼杵市の将来を考え、重要なキーワードを導きました。



第5回

日時・場所

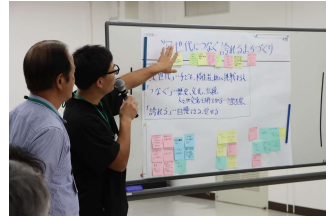
日時: 9/3(火) 19-21時
場所: 臼杵市役所臼杵庁舎
1階大会議室

目的

- 臼杵市の理想の未来像を導き出す

内容

これまでの4回を踏まえて、第4回で導き出したキーワードをもとに、さらに各グループで考えを深めていきました。最後は、導き出した将来像とその将来像に込めた想いをグループごとに発表を行いました。



※ 8/8(木)宮崎日向灘地震により延期
※ 8/29(木)台風10号上陸により延期

8. 経過報告 <市民ワークショップ>

<市民ワークショップの結果>

未来を共に作り文化と共に生きるまち臼杵 ～全ての世代がウェルビーイングを目指して～

1班

- 臼杵城下を中心に臼杵特有の文化発展を遂げており、ユネスコ食文化創造に指定され世界中から注目を浴びている。
- これまで大切にしてきた文化とともに育まれた「思い」「思いやりの心」「たくましい力」を次世代につないでいくことが必要である。
- 臼杵の力を奮い立たせ、活力ある臼杵をめざし、世代を越えてウェルビーイングを実現することが必要である。

「ほっとする」を育てるまち

- 「ほっとする」は、どこかに出かけて臼杵に帰ってきた時に変わらない景色や人のあたたかさに触れ安心してほっとし「臼杵が1番だ」と感じることを大切にしたい。
- 伝統や思い出を大切にしたい。
- 「ほっとする」は当たり前であってほしいが、簡単に失われるものであるため育てていく必要がある。
- 人を育てることが重要であるため、1人ひとりの個性が輝けるまちが必要である。

2班

ふらっと ほっと はっと ～へえーと心にヒットする～

- 臼杵に「ふらっと」気軽に来てほしい、そして、世代などに関わらずみんなが平等であってほしい(flat)。人があたたかく、まちが盛り上がっている(hot)。「ふらっと」来て、「ほっと」するな、と思ったときに「はっと」気がつくような魅力を持った臼杵の魅力が心にささるまち。
- コミュニティやつながり、集まりを大切にできるようなテーマができるとういと考えたことが経緯である。
- 臼杵が“心”でできていること改めて感じることができた。

3班

次世代につなぐ誇れるまちづくり

- 次世代には、子どもや臼杵に移住した人、臼杵で新しく何かにチャレンジする人などを含めて臼杵をつないでいく必要がある。
- 歴史・文化、伝統をつないでいくため、人と人との交流が必要であり、交流によりお互いを知り、地元愛をつないでいく。
- 何か特別なことをしなく、今、当たり前に行っている(こどもたちが挨拶するなど)ことが臼杵の良さであることを知る。

4班

「ただいま。」と「おかえり。」が似合うまち ～臼杵らしさを次世代へ～

- 臼杵で生まれ育った人はもちろん、初めて臼杵に来た人もまた帰ってきたいと思える環境がある。
- 特に、臼杵の魅力である「自然が豊か」「景観の良さ」「食文化」「歴史」「人の温か」を大切にしたい。
- 今ある臼杵の環境は簡単に作れるものではないからこそ、次世代にこの臼杵のよさを伝えていきたい、そして、臼杵のよさを100年後につないでいきたい。

5班

キーワード

次世代、つなぐ、誇る、掬(むす)ぶ、未来、自然(山、川、海、風景、食)、歴史、文化、伝統、健康、個性、食文化、人があたたかい、おおらか、助け合い、生きがい、つながり、ふるさと、楽しい、安心、安全、住みやすい、活気、にぎやか、元気、夢、災害に強い、輝き、チャレンジ、優しい、安らぎ、ぬくもり、笑顔、心豊か、快適

将来像に込める想い

今の臼杵は、臼杵の魅力である「自然が豊か」「景観の良さ」「食文化」「歴史」「人の温かさ」、そして文化とともに育まれた「おだやかさ」と「たくましさ」を知り、学び、守り、月日を積み重ねることで、今もなおまちとしての味に深みが増し続けています。また、臼杵に住む人々が、これら臼杵の魅力を再認識し、臼杵に対して誇りを持っています。

このような臼杵の魅力や誇りを大切にし、さらなる臼杵の新しい魅力に気づき、創り出していくことができる、臼杵で生まれ育った人、臼杵に移住した人、臼杵で新たにチャレンジする人など、あらゆる人が臼杵でつながり、それぞれが臼杵を舞台に光輝くことができまちをめざします。また、臼杵の変わらない景色や人のあたたかさに触れ安心してほっとできる場所として100年先も200年先も臼杵がここにあり続けることで人と人をつなぎ、心と心を結び、時代と時代をつないでいきます。

将来像の実現に向けた、6つのまちづくりの目標

基本目標Ⅰ

住みよいまち (子育て・健康・福祉)

子育て、健康、医療・保険(健)
 高齢者福祉、障がい者福祉
 地域福祉、地域振興
 うすき暮らし(移住・定住)
 虐待予防・対策

基本目標Ⅱ

安心・安全なまち (社会基盤・防災)

まちづくり、道路
 上下水道、住環境、公共交通
 防災・減災、救急・消防

基本目標Ⅲ

活気あふれるまち (産業・観光)

農林水産業
 商工業
 観光産業
 食文化

基本目標Ⅳ

学びのあるまち (教育・歴史・文化)

乳幼児教育
 学校教育、社会教育
 歴史・文化振興、人権

基本目標Ⅴ

思いやりのあるまち (生活基盤・環境)

カーボンニュートラル(脱炭素)
 ごみ
 防犯・交通安全

基本目標Ⅵ

持続可能な臼杵市へ (行財政)

行財政運営
 シティプロモーション
 議会